



泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつづやき

風薫る5月、図書室でおでかけ本を借りてどこかへかけてみませんか? メロン



新着・お薦め図書

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------------|-------------|-------------------|----------|---------------------|----------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|----------|----------|
| 泗水図書館 | 北原亜以子 著 | ぎやまん物語 | 川口則弘 著 | 直木賞物語 | 藤田真永 著 | 銀座千と一の物語 | 樋口直哉 著 | スープの国のお姫様 | 松永正訓 著 | 運命の子トリスミー | 藻谷浩介 著 | 里山資本主義 | 吉橋通夫 著 | 官兵衛、駆ける。 | エド・ヤング 絵 | よぶかしにんじや |
| 中央公民館 | 米山公啓 著 | 脳をリセットする55の習慣 | ジェニー・ディーン 著 | 世界の草木染めワイルドカラーの魅力 | ドール 監修 | ドール社員が教えるきょうのバナナレシピ | 宇江佐真理 著 | 高砂 | 村上春樹 編訳 | 恋しくて | あきやまただし 作 | へんしんレストラン | 高岡洋介 絵 | やくそくだよじいじ | | |
| 七城公民館図書室 | 岡田准一 著 | オカダのはなし | ドリアン助川 著 | ピンザの島 | 井上敏樹 著 | 海の底のピアノ | 石澤清美 著 | おからレシピ | | | | | | | | |
| 旭志公民館図書室 | 真山 仁 著 | そして、星の輝く夜がくる | 島本めぐみ 著 | 簡単おしゃべり!リメイク1年生 | 岡田よしあき 作 | くしカツさんちはまんいんです | いしづちひろ 作 | おいし〜い | | | | | | | | |

「こんなにも優しい、世界の終わりがた」

市川拓司 著



佐々幸紀さん (新古開)

日常生活に疲れている人、仕事に頭をかかえて、心がささくれている人なんかにお薦めしたい一冊です。この小説の好きな所は、表現がとても優しく、言葉の一つ一つがきれいなことです。読み進めていくうちに、自分の心のモヤまできれいに洗い流されていくようでした。世界が青い光に飲み込まれていき、終わりを迎える物語で、スッと幻想的な世界に引き込まれてしまいます。主人公の吉沢と恋人の雪乃が世界が終わりに近づくにつれ、純度の高い愛を育んでいく姿は、心温まります。

どの登場人物も人間味がありますが、吉沢の友達で中学3年なのにおねしょする洋幸という男の子が心に残りました。走っている電車から飛び降り、一瞬の景色を目に焼きつけ絵に描いたり、奇行を繰り返す大人たちには世界の美しさは分からない」と言ってしまう彼の世界観には共鳴しました。

アッという間に最後のページになりますよ。

耳より情報

旭志のおはなし会でスタンプを集めよう!

とき 毎月第3土曜日 午後1時30分～
 ところ 旭志公民館図書室

旭志のおはなし会にお越しいただくと、1回につきスタンプが1個もらえます。スタンプを3個集めると手作り絵本バッグをプレゼントします。バッグがなくなり次第終了となります。

おはなし会は絵本の読み聞かせ、折り紙などイベントいっぱいです。予約は要りません。たくさんのご参加お待ちしております。

図書館・図書室に桜の花が咲きました♪

「第33回全国さくらシンポジウム」の開催に合わせて、市民のメッセージや絵を描いた桜の切り絵を飾りました。

2月1日から4月6日までの間、図書館・図書室に桜が咲き誇り、来館者をやさしく迎えていました▶



万句の里俳句会 3月例会
 まあだまだ縁を切れず春炬燵 加藤 妙子
 燕飛ぶ川面も弾みをりにけり 北村 妙子
 末黒野となり余燼又立ちあがる 平山 邦子
 逝きし友偲べば潤む春の月 宮本 雅子
 水温む銀鱗跳り上がる堰 林 まつ子

せせらぎ俳句会 3月例会
 そつと来て春告げゆきし風のあり 村山 数恵
 寺彼岸建て替え決まる活氣かな 藤本 邦治
 合格の音が受話器をはみ出せり 五丁 義昭
 街中の春の装ひ老も浮き 寺本 和子
 ひな祭並ぶ曾孫もひなの顔 服部 静子

旭志文芸教室俳句の会 3月詠草
 老いの身に重ね着するや夜寒かな 芹川 のり子
 春立つや折り紙手裏剣子等の手に 中尾ヨシコ
 通院の窓の借景山笑ふ 芹川 蓉子

肥後狂句水笑会 3月例会
 筆筒預金 使い道どま知らっさん 吉岡 三水
 こら便利 チンするだけでシエフの味 続 義昭
 金メダル 一遍ぐらい拝みたか 御手洗三代
 暇ん無ア 世界旅行の銭はある 井出 水光
 筆筒預金 たまにゃ空き巣におもてなし 山隈 好茶

七城短歌会 3月詠草
 待ちわびしさくら草庭に咲き揃う苗を呉れたる友に見せたまき

肥後狂句水笑会 3月例会
 欲の無さ 顔まで仏見るごたる 高倉 新米
 並んだ並んだ 粗品が効いた開店日 高木 房恵
 句 ちよつと待った ころから先は禁漁 田中レイ子
 厳しか めざすはみんな公務員 田中 孝幸
 マンネリ 銀婚まじやアもたんばい 窪田 明徳
 着膨れて田畦にきたれば犬ふぐりの青花群れ咲き春を先取る 池田カツ子

菊池短歌会 4月詠草
 手浸せば意外にぬるき川の水大地は春の近きと知りぬ 古賀 勝士
 さんがい草いとけなき程咲き競ひ花にも我にも陽は降り注ぐ 中川 愛子
 栗の裸木わずかけぶりて段畑の草青みたり朝の視界に 中原ちえ子

高齡者大学文芸部 3月歌会
 家族らと暮らす安堵に年重ねわが田に育てし牛蒡を刻む 山下 菊代
 柿落葉の間にのぞく落のとう義姉は施設に七年過ぐす 中原 光子
 それぞれの家族帰りにまた独り佛の夫としみじみ語る 梅野カヲル
 見渡せど洗濯ものの影もなくPM 2.5わが街被う 山田 弘子
 春立ちてほの暖かき部屋内に旅の折り込み旅情を誘ふ 山城 雅子



お詫びと訂正
 広報きくち4月号20ページ宮本淑子さんの句に誤りがありました。お詫びして訂正します。
 誤 雪暮れのつららの滴数えてはゆるり発射のバスに旅行く
 正 雪暮れのつららの滴数えてはゆるり発車のバスに旅行く

